

日本語能力参考資料
Letter of Reference by Japanese Language Instructor

【注意 Attention】
この書類は、応募学生の日本語教育を担当している教員が記入してください。
この書類は、2級(N2)以上の日本語能力試験合格通知書、日本語能力試験認定書または日本語能試験証明書のいずれかのコピーがあれば提出する必要はありません。
This sheet should be filled out and signed by a Japanese language instructor who presently teaches the applicant.
This sheet must be submitted if applicants are unable to submit a copy of the Level 2 (N2) Japanese Language Proficiency Test result.

大学名: _____

学生名: _____

1. 大学での日本語総授業時間

(大学入学以来現在まで、応募学生が日本語の授業を何時間受けているか総時間をお書きください。自習時間は含みません。また、大学での日本語学習開始レベルを選択してください。)

時間 (_____年 _____ヶ月 週当たり約 _____時間)

大学での日本語学習開始レベルは: (入門 ・ 初級 ・ 中級 ・ 中上級以上)
※ 大学入学以前の日本語学習経験が全くなかった場合、もしくは大学入学時に極めて限られた日本語知識しか有していなかった場合は、入門をお選びください。

2. 大学での使用教科書

(応募学生が使用した/している教科書名、出版社名をお書きください。それぞれの教科書の学習を修了したか、学習中であるかも選択してください。)

- ① _____ (学習済 ・ 学習中)
- ② _____ (学習済 ・ 学習中)
- ③ _____ (学習済 ・ 学習中)
- ④ _____ (学習済 ・ 学習中)

※ その他特記すべき使用教材があれば、お書きください。

- ⑤ _____ (学習済 ・ 学習中)

3. 応募学生の習得漢字数 (非漢字圏の応募学生のみ)

(応募学生が習得していると考えられる漢字数を1つお選びください。)

- ①～100字 ②～300字 ③～800字 ④～1000字 ⑤～1500字 ⑥1500字以上

4. 応募学生の習得語彙数

(応募学生が習得していると考えられる語彙数を1つお選びください。)

- ①～800語 ②～1500語 ③～3000語 ④～6000語 ⑤～10000語 ⑥10000語以上

5. 日本語運用能力

(以下の日本語運用能力について5段階評価をお願いします。)

	問題なくできる	大体できる	少しできる	困難	不可
① 日本語で最低限の日常会話ができる。	5	4	3	2	1
② 身近な話題について意見や感想が述べられる。	5	4	3	2	1
③ 身近な話題について作文を書くことができる。	5	4	3	2	1
④ 身近な話題について書かれた文章を理解できる。	5	4	3	2	1
⑤ 専門分野の基礎的な文献が理解できる。	5	4	3	2	1
⑥ 専門分野の講義が理解できる。	5	4	3	2	1
⑦ 専門分野のレポートを書くことができる。	5	4	3	2	1

6. その他コメント

(応募学生の日本語能力を示す事実・データ等が上記以外にありましたら、お書きください。)

日付: _____

記入者名: _____ 署名: _____

所属・職位: _____